

徒然草

兼好法師

つれづれなるままに、日暮らし、硯すずりに
退屈であるのにまかせ一日中 硯すずりに



向かいひて、心にうつりゆくよしなし事を、
むかつて 心にうかんで消えていくとりとめもないことを

まとまりがない事

そこはかたなく書きつくれば、
あてもなく書いていると

あやししゅううこそものぐるほおしけれ。

不思議なことにおかしな気分になる

次の語句の意味を書きましよう
つれづれなる↓
よしなし事↓
あやしう↓
ものぐるほし↓
現代仮名遣いにしましょう

向ひて↓

あやしう↓

ものぐるほしけれ↓